

# H29 SMS 調査・実証実験 成果報告書

平成 29 年 7 月 20 日

大阪大学大学院人間科学研究科経験社会学研究室

NHK 営業サービス(株)

(株)クローバ・ネットワーク・コム



## 要約

### ●目的と背景

H29 SMS 調査・実証実験（以下、本調査）では、SMS 調査の特徴とその応用可能性について検討すべく、計 2 回の SMS 調査を行った。

### ●それぞれの調査の特徴

- ①第 1 回調査：できる限り回収率を高めることを目的としているため、調査内容を文化活動として回答の敷居を下げている。また、事前告知を送付している。
- ②第 2 回調査：一般的な世論調査の形式をとったうえで、一定の回収数としての 300 件を確保することを目標としている。事前告知は送付していない。

### ●調査結果

- ①第 1 回調査：10,000 件に事前告知 SMS メッセージを送信、9,034 件を調査可と判断
  - ：9,034 件に調査 SMS メッセージを送信し、8,662 件に着信
  - ：8,662 件中、193 件が回答ページへアクセス（アクセス率：2.23%）
  - ：8,662 件中、168 件から回答が得られた（回収率：1.94%）
- ②第 2 回調査：22,966 件に SMS メッセージを送信し、19,937 件に着信
  - ：19,937 件中、833 件が回答ページへアクセス（アクセス率：4.18%）
  - ：19,937 件中、343 件から回答が得られた（回収率：1.72%）

### ●SMS 調査の特徴と応用可能性について、以下のことが明らかになった。

- ①特徴：回答者には男性が多く含まれる。そして、回答者に占める 18 歳から 40 歳代までの割合が高い一方、回答者に占める 70 歳代以上の割合は低い。
- ②応用：若年層に焦点を当てた世論調査手法としての SMS の利用

1. はじめに (p.1)
  - 1-1. H29 SMS 調査・実証実験の背景と目的
  - 1-2. 調査実施体制
  
2. SMS 調査の設計 (p.1)
  - 2-1. 第1回調査（文化活動調査）の調査設計
  - 2-2. 第2回調査（政治等に関する世論調査）の調査設計
  
3. 第1回調査（文化活動調査）の結果 (p.2)
  - 3-1. 着信状況
  - 3-2. 調査への反響
  - 3-3. 回収状況
    - 3-3-1. アクセス率とその推移
    - 3-3-2. 回収率とその推移
  - 3-4. 回答者の属性
  
4. 第2回調査（政治等に関する世論調査）の結果 (p.5)
  - 4-1. 着信状況
  - 4-2. 調査への反響
  - 4-3. 回収状況
    - 4-3-1. アクセス率とその推移
    - 4-3-2. 回収率とその推移
  - 4-4. 回答者の属性
  
5. H29 SMS 調査・実証実験 知見のまとめ (p.8)
  - 5-1. 回収状況について
  - 5-2. 回答者の属性について
  
6. SMS 調査の特徴と可能性に対する考察 (p.9)
  - 6-1. SMS 調査の特徴
  - 6-2. SMS 調査の可能性

■ 巻末資料

- 巻末資料① 第2回調査（政治等に関する世論調査）単純集計 (p.11)
- 巻末資料② 第2回調査（政治等に関する世論調査）クロス集計表 (p.16)
- 巻末資料③ 質問項目 (p.24)
- 巻末資料④ 参考文献 (p.27)

## 1. はじめに

### 1-1. H29 SMS 調査・実証実験の背景と目的

現在のマスコミ各社による世論調査は固定電話を主体に一部携帯電話を含めた RDD(Random Digit Dialing)が主流である。しかし、固定電話の保有率の低下傾向が続く中、RDD に代わる新たな調査手法の登場が求められている。

海外では、新たな調査モードとしての SMS(Short Message Service)による世論調査の可能性が検討されている。しかし、SMS を利用した国内世論調査で公に発表された成果は、2016 年に大阪大学経験社会学研究室が実施した小規模な試行結果のみである。

そこで H29 SMS 調査・実証実験（以下、本調査と省略して表記）では、2016 年の実績と課題を踏まえ、再度 SMS を用いた複数回の実証実験を行う。本調査では、次世代の調査モードとしてのスタンダードを目指すべく、SMS 調査の回収状況と回答者層に注目することによって、SMS 調査の特徴と可能性について考察する。

### 1-2. 調査実施体制

本調査の実施に当たり、大阪大学大学院人間科学研究科経験社会学研究室が調査主体となり、NHK 営業サービス(株)、(株)クローバ・ネットワーク・コム の 2 社からの後援を賜った。

## 2. SMS 調査の設計

### 2-1. 第 1 回調査(文化活動調査)の調査設計

調査設計は下記のとおりである。第 1 回調査の特徴は、SMS 調査に多く含まれる若年層の回答の敷居を低くするための調査内容とした点、事前告知 SMS を送付した点にある。

- 調査方法：SMS (Short Message Service) を使用したインターネット調査
- 調査期間：2017 年 5 月 26 日(金)～28 日(日)
- 質問項目：テレビの視聴時間、ウェブ上で利用するコンテンツ、運動をする頻度、1 カ月あたりの読書冊数、音楽鑑賞をする頻度、年齢、性別、本調査に対するご意見（計 8 問）
- 事前告知：2017 年 5 月 26 日(金)午前 10 時に SMS メッセージを送信。送信メッセージ内に、調査趣旨説明ウェブページへのリンクを掲載。
- 回答手順：2017 年 5 月 27 日(土)午前 10 時から SMS メッセージが送信され、調査対象者は受信した SMS メッセージ内部に掲載されている回答ページ URL をクリックし、回答を開始する。
- 標本抽出：softbank と docomo の携帯電話ユーザーを母集団として、10,000 件の電話番号をランダムに抽出した。10,000 件のうち、調査事前告知送付の段階で SMS の着信が確認された番号および 2017 年 5 月 26 日(金)15 時の段階で圏外であった番号、計 9,034 件に SMS 調査を実施した。

## 2-2. 第2回調査(政治等に関する世論調査)の調査設計

調査設計は下記のとおりである。第2回調査の特徴は、一般的な世論調査の質問項目が含まれている点、一定の回収数としての300件を確保するために第1回調査の2倍を超えるSMSメッセージを送信している点にある。

- 調査方法：SMS (Short Message Service) を使用したインターネット調査
- 調査期間：2017年6月17日(土)～18日(日)
- 質問項目：内閣支持率、支持政党、テロ等準備罪法、加計学園問題、天皇退位特例法、原子力発電、憲法改正、地球温暖化、年齢、性別 (計10問)
- 回答手順：①2017年6月17日(土)午前10時から10,966件のSMSメッセージが送信され、調査対象者は受信したSMSメッセージ内部に掲載されている回答ページURLをクリックし、回答を開始する。②2017年6月18日(日)午前10時から12,000件のSMSメッセージが送信され、調査対象者は上記手順で回答を開始する。なお、各回の回答ページ冒頭部には、調査趣旨説明ウェブページへのリンクと調査Q&Aウェブページへのリンクが掲載されている。
- 標本抽出：softbank と docomo の携帯電話ユーザーを母集団として、22,966件の電話番号をランダムに抽出した。

## 3. 第1回調査(文化活動調査)の結果

### 3-1. 着信状況

SMSメッセージを送信した9,034件のうち、8,662件に着信した。ほか、282件は圏外であり、90件は携帯端末設定や通信状況に起因する不着であった。

それぞれ不着に該当すると考えられるケースは、以下のとおりである。まず、携帯端末側に起因する不着には、SMSメッセージの受信拒否や指定着信拒否設定等を行っているケースが含まれる。また、通信状況に起因する不着は、携帯会社の基地局と携帯端末間の電波状況が微妙な場合(圏外を除く)や送信先の携帯端末が海外にある場合が該当する。

### 3-2. 調査への反響

調査期間中、専用フリーダイヤルへ17件、大阪大学へ9件の問い合わせがあった。大阪大学への主な問い合わせの内容は、電話番号の生成方法、本調査が本当に実施されているのかに関する確認であった。

### 3-3. 回収状況

#### 3-3-1. アクセス率とその推移

SMSメッセージが着信した8,662件のうち、193件から調査回答ページへのアクセスがあった。アクセス率は2.23%であった。時間帯ごとのアクセス率は、図1のとおりである。上記件数は調査期間中（2017年5月26日(金)～28日(日)）のアクセス件数であるが、事前告知を送付して1週間経過後（2017年6月2日）までのアクセス件数は312件となっていた（アクセス率：3.60%）。

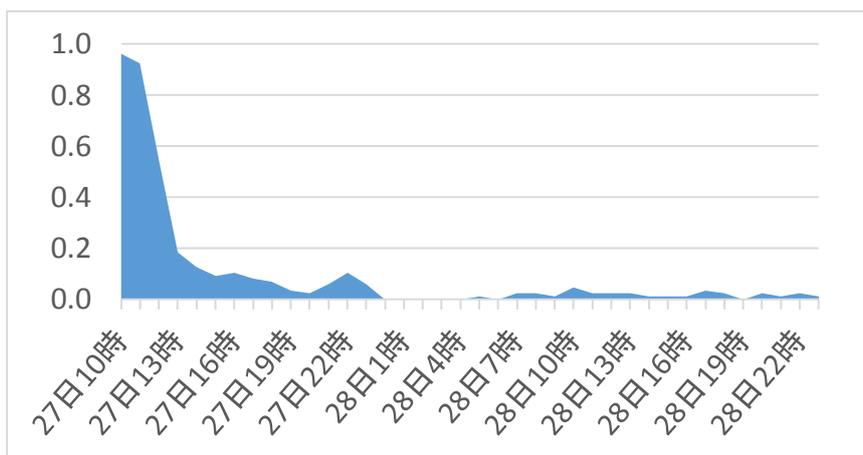


図1 第1回調査 アクセス率の推移(単位:%)

#### 3-3-2. 回収率とその推移

SMSメッセージが着信した8,662件のうち、168件から回答が得られた。回収率は1.94%であった。また、アクセス数に対する回答率は87.1%であった。時間帯ごとの回収率は、図2のとおりである。上記件数は調査期間中（2017年5月26日(金)～28日(日)）の回答件数であるが、事前告知を送付して1週間経過後（2017年6月2日）までの回答件数は174件となっていた（回収率：2.01%）。

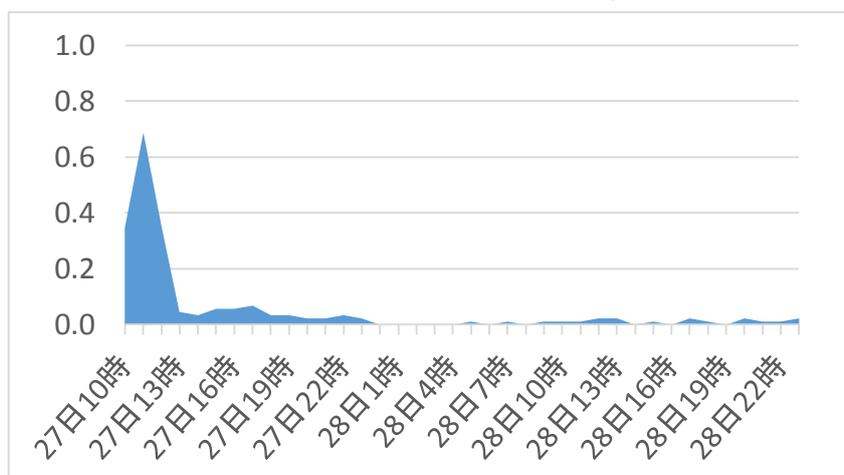


図2 第1回調査 回収率の推移(単位:%)

### 3-4. 回答者の属性

#### ■性構成

国勢調査データ（総務省統計局 2016）との比較の結果、SMS 調査の回答者には男性が多く含まれることが確認された（図 3）。2016 年度に実施された SMS 調査でも、同様の傾向が確認されている。

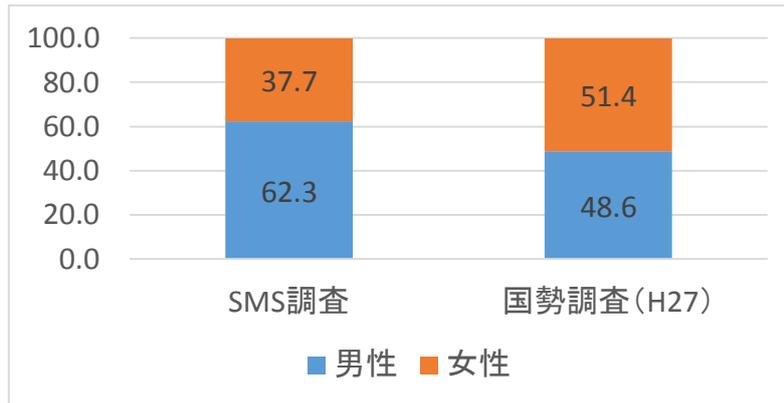


図3 第 1 回調査 性構成(N=174 単位:%)

#### ■年齢構成

国勢調査データ（総務省統計局 2016）との比較の結果、SMS 調査の回答者には若年層が多く含まれることが確認された（図 4）。SMS 調査では 18 歳から 29 歳の層が約 3 割を占めている。一方、70 歳以上の層の割合は約 1 割程度にとどまっている。2016 年度に実施された SMS 調査でも、同様の傾向が確認されている。

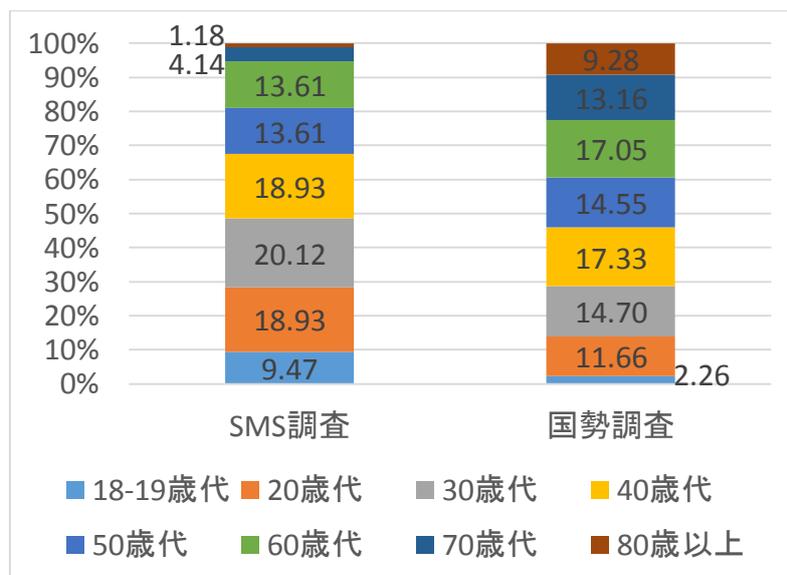


図4 第 1 回調査 年齢構成(N=169 単位:%)

## 4. 第2回調査(政治等に関する世論調査)の結果

### 4-1. 着信状況

SMS メッセージを送信した 22,966 件のうち、19,937 件に着信した。ほか、2,173 件は圏外であり、856 件は携帯端末や通信状況に起因する不着であった。

### 4-2. 調査への反響

調査期間中、専用フリーダイヤルへ 5 件、大阪大学へ 5 件の問い合わせがあった。大阪大学への主な問い合わせの内容は、第1回調査と同様、電話番号の生成方法、本調査が本当に実施されているのかに関する確認であった。

第2回調査では、調査関連ウェブページへのアクセスログデータも取得している。調査期間中、調査趣旨説明ページへのアクセスが 637 件、Q&A ページへのアクセスが 55 件あった。それぞれへのアクセス状況は図5のようになっている。図5からは、SMS メッセージ送信直後に反響があらわれることがわかる。

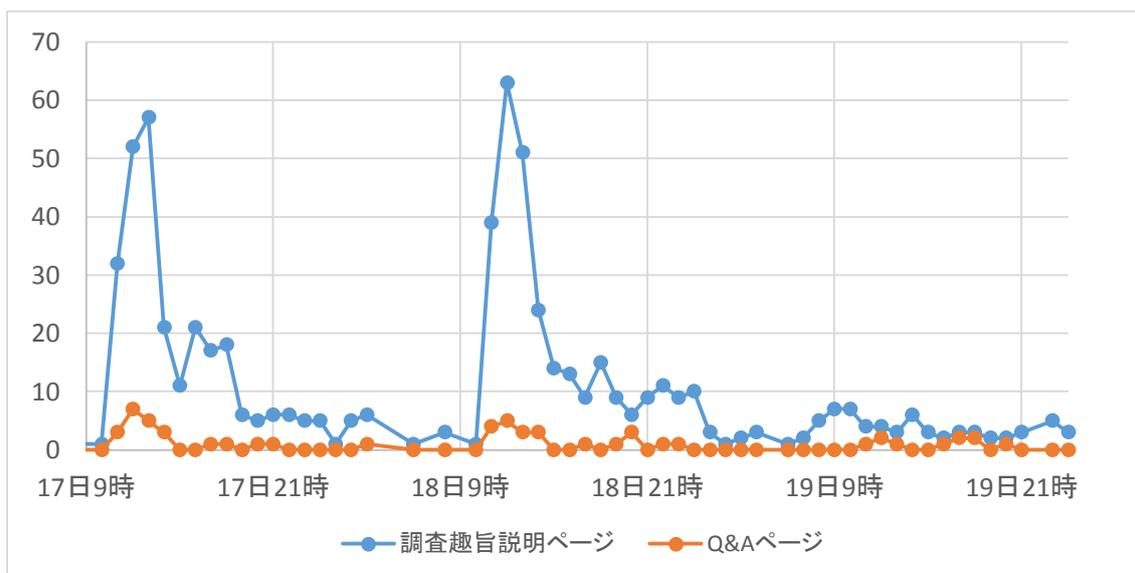


図5 第2回調査 調査関連ウェブページへのアクセス状況(単位:件)

### 4-3. 回収状況

#### 4-3-1. アクセス率とその推移

SMS メッセージが着信した 19,937 件のうち、833 件から調査回答ページへのアクセスがあった。アクセス率は 4.18%であった。なお、このアクセス率は 2016 年度に行われた SMS 調査、第1回調査と比較して、最も高い値となっている。時間帯ごとのアクセス率は、図6のとおりである。

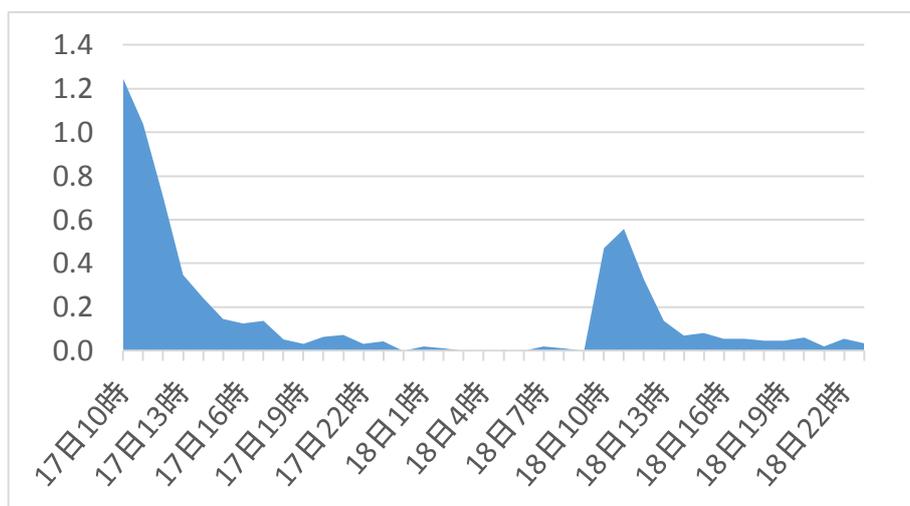


図6 第2回調査 アクセス率の推移(単位:%)

#### 4-3-2. 回収率とその推移

SMSメッセージが着信した19,937件のうち、343件から回答が得られた。回収率は1.72%であった。時間帯ごとの回収率は、図7のとおりである。また、アクセス数に対する回答率は、41.2%であった。

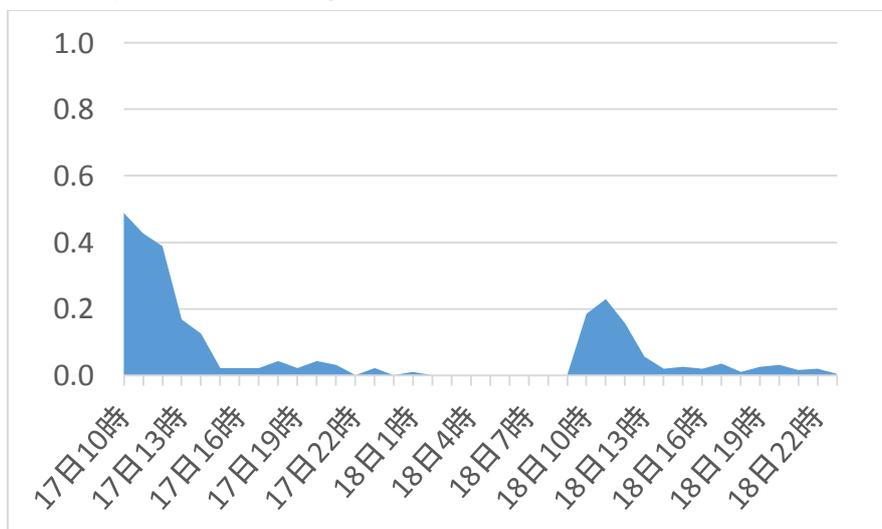


図7 第2回調査 回収率の推移(単位:%)

#### 4-4. 回答者の属性

##### ■性構成

国勢調査データ（総務省統計局 2016）との比較の結果、SMS調査の回答者には男性が多く含まれることが確認された（図8）。2016年度に実施されたSMS調査でも、第1回調査でも同様の傾向が見られることから、改めてSMS調査には男性が多く含まれるということが確認されたといえる。

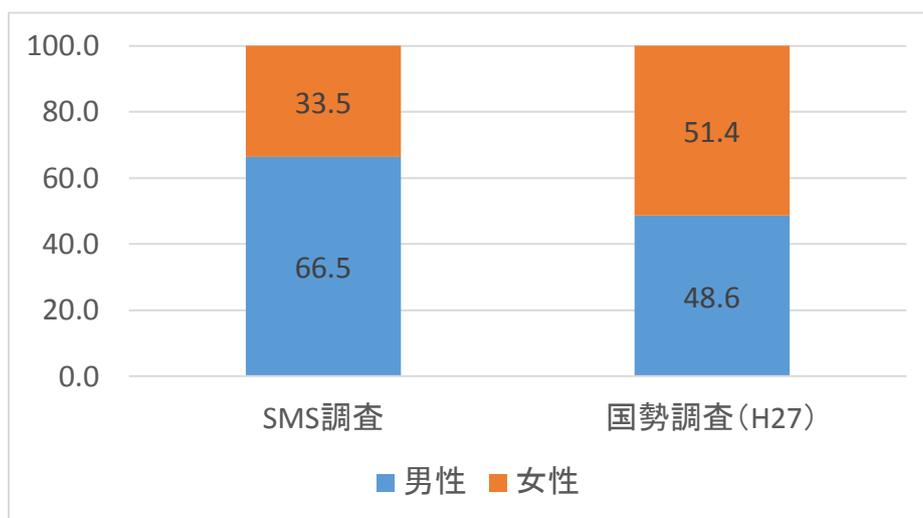


図8 第2回調査 性構成(N=340 単位:%)

■年齢構成

第1回調査同様、国勢調査データ（総務省統計局 2016）との比較の結果からは、SMS調査の回答者には若年層が多く含まれることが確認された（図9）。第2回調査の結果は、第1回調査と比較して若干の差異はあるものの、60歳代以上の層が少なく、50歳代以下の層が多く含まれるという傾向は共通しているといえる。

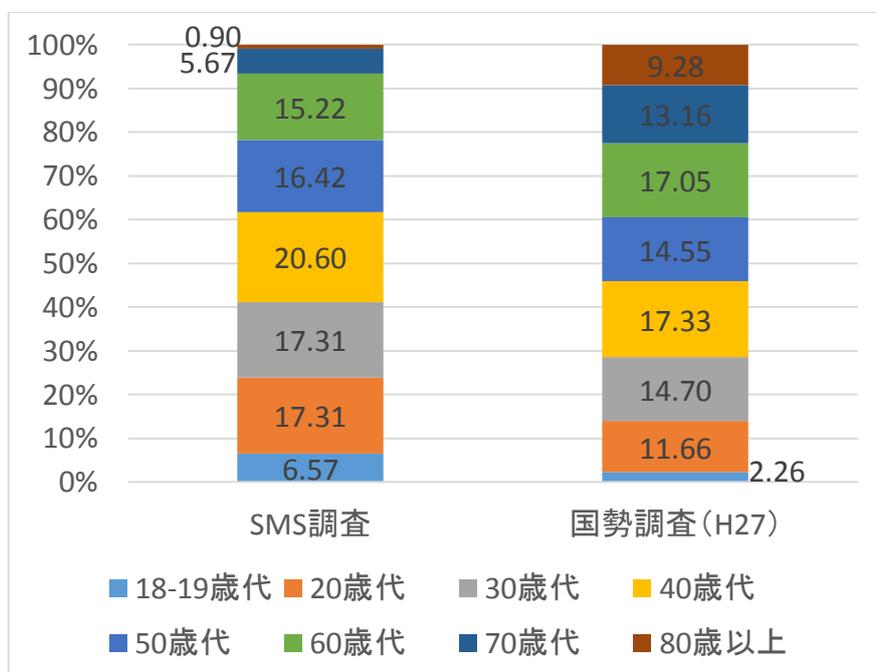


図9 第2回調査 年齢構成(N=335 単位:%)

## 5. H29 SMS 調査・実証実験 知見のまとめ

### 5-1. 回収状況について

第1回調査におけるアクセス率は2.23%、回収率は1.94%であった。第1回調査では、回収率を高めることを目的として、事前告知SMSを送付した。しかし、事前告知SMSを送付した第1回調査と、事前告知SMSを送付しなかった第2回調査とでは、回収率に大きな差異がない。質問項目や調査時期が異なるため単純な比較はできないものの、第1回調査の回収率は1.94%であるのに対して、第2回調査の回収率は1.72%であった。よって事前告知SMSの送付は、回収率の向上に対して効果を持たないと考えられる。

ただし、事前告知SMSの送付は、アクセス数に対する回答率を高める効果は有すると考えられる。なぜなら、アクセス数に対する回答率は、事前告知SMSを送付した第1回調査では87.1%であったのに対し、事前告知SMSを送付しなかった第2回調査では41.2%となっているためだ。

第2回調査におけるアクセス率は4.18%、回収率は1.72%、アクセス数に対する回答率は、41.2%であった。調査設計でも示したとおり、第2回調査は、SMSによる世論調査の実現可能性について検討するための調査である。そこで、第2回調査では、300件の回収を目標として、第1回調査の倍以上のSMSを送信した。その結果、回収数は343件であり、目標回収数は達成された。

これらの回収状況から、マスコミ各社が実施する世論調査に共通した回収数である1,000件程度の回収を求める場合には、約50,000～60,000件のSMS送信で同様の回収数を得られると考えられる。

### 5-2. 回答者の属性について

本調査によって、SMS調査における回答者の属性に関する特性が明らかになったといえる。その特性とは、国勢調査の結果と比較した際に明らかになる次の2つの傾向である。第1に、SMS調査の回答者には男性が多く含まれる。そのため、性別補正等の何らかの工夫が必要であると考えられる。第2に、SMS調査の回答者では、18歳から40歳の占める割合が高い一方、回答者に占める70歳以上の割合は低い。SMS調査では、既存の調査ではとらえきれなかった若年層からの回答を期待できる反面、70歳以上の回答比率が従来調査手法よりも低下するといえる。以上2つの傾向は、第1回調査、第2回調査、2016年調査という、3つのSMS調査に共通して確認される。

## 6. SMS 調査の特徴と可能性についての考察

### 6-1. SMS 調査の特徴

#### 【回収状況について】

- ① 調査依頼 SMS メッセージ受信者に占める回答者の割合は 1~2%と低いものの、SMS 調査においては、一定時間内に回答が収束する。これは、調査依頼から回答ページへのアクセスや回答までに要する時間が短いことによる。
- ② SMS 調査への問い合わせは、SMS メッセージの送信規模に比してきわめて少数である。本調査において問い合わせを行ったのは、調査依頼 SMS メッセージを受信した 8,662 件のうちの 26 件 (0.3%)、あるいは 19,947 件のうち 10 件 (0.005%) であった。

#### 【回答の傾向について】

- ① SMS 調査の回答者には、若年層および壮年層が多く含まれる。一方で、高齢層の割合は少ない。この傾向は、国勢調査データとの比較結果 (図 4, 図 9) から確認できる。先行研究 (前田 2015; 三隅・三輪 2008) で若年層における回収率の低下が指摘されるなか、回答者における若年層の割合が高いという点は、SMS 調査の特徴の 1 つだといえる。
- ② SMS 調査の回答者には、男性が多い。この傾向は、国勢調査データとの比較結果 (図 3, 図 8) から確認できる。
- ③ SMS 調査における内閣支持や支持政党に関する回答は、他の世論調査と近似する。この傾向は、携帯 RDD と固定 RDD のミックスモードの調査である NHK「政治意識月例調査」との比較結果 (図 10, 図 11) から確認できる。

### 6-2. SMS 調査の可能性

SMS 調査によって、他の調査手法より廉価かつ機動性の高い調査を実施することが可能になると推定される。SMS 調査においては、5~6 万件の SMS メッセージの送信に対して、1,000 件程の回答を見込むことができる。そして、SMS 調査では、調査依頼から回答までの反応が早いため、回答状況を把握しながら、随時 SMS メッセージを送信して、希望の回答数を得ることも可能である。

SMS 調査の課題としては、年代、性別の偏りの問題がある。これらの問題を克服するには、マスコミ名などの知名度を利用して高齢層の回収率を高めるといった方法や、男女比で補正を行う、あるいは男女別で結果を示すといった方法が考えられる。

克服すべき課題はあるものの、上記考察を踏まえるならば、SMS 調査は、変化の激しい世論の動向を迅速に捉える手法としての可能性を十分に秘めているといえる。ただし、SMS を今後の世論調査における主要な調査モードとして位置づけるには、実際の世論調査の形式を採用した第 2 回調査における回答が 343 件であることから、回収数に関する知見が不足しているといえる。よって今後は、実際に 5~6 万件の SMS メッセージを

送信し、1,000 件程の回答を得られるのかを検証するための調査を実施するなどして、本報告書で示された SMS 調査の応用可能性を確認していく必要があるだろう。

## ■ 巻末資料

巻末資料では、第2回調査（政治等に関する世論調査）の単純集計表とクロス集計表を掲載している。第2回調査について上記集計結果を掲載するのは、第2回調査がNHK「政治意識月例調査」との比較可能性を有するためである。

内閣支持率と支持政党、それぞれのグラフにおける月例調査の値については、NHK「政治意識月例調査」の6月のデータを参照した。内閣支持率のグラフでは、第2回SMS調査において「わからない」等あるいは無回答と回答した者は除いている。これは、内閣支持率についての公開データが、支持と不支持のデータのみであることによる。また、支持政党のグラフにおいて、「わからない」と「無回答」が統合されているのも、公開データの形式に揃えたという理由による。

### 巻末資料① 第2回調査(政治等に関する世論調査)単純集計

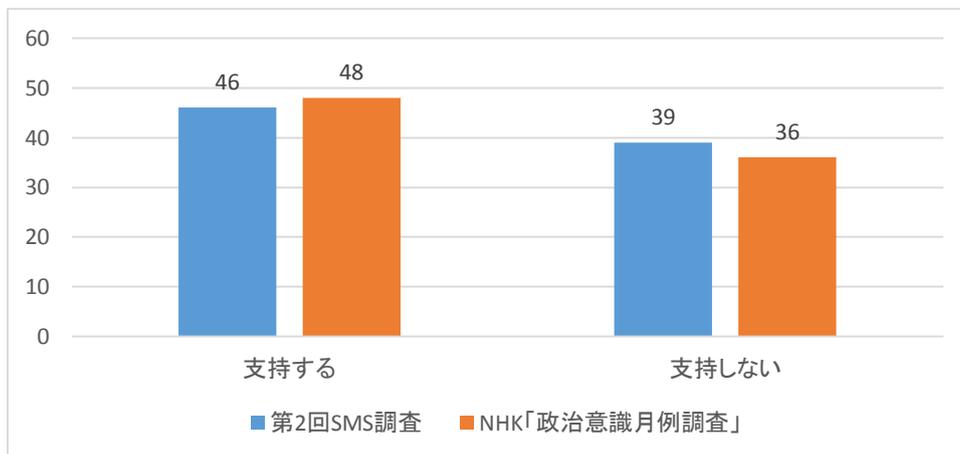


図10 問1「安倍内閣を支持しますか。それとも、支持しませんか。」(N=291, 単位:%)

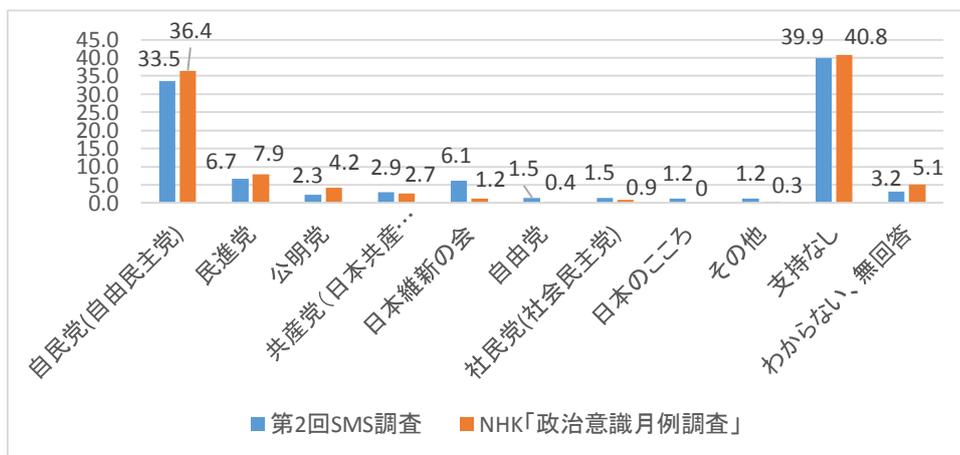


図11 問2「今、どの政党を支持していますか。支持している政党の名前を1つだけ選んでください。」(N=343, 単位:%)

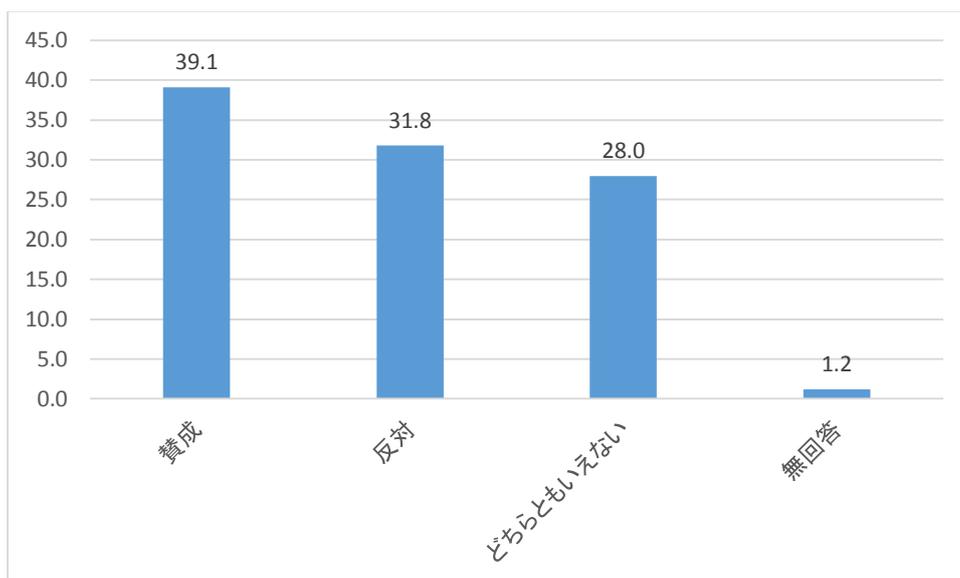


図 12 問3「共謀罪」の構成要件を改めて「テロ等準備罪」を新設する「改正組織犯罪処罰法」が成立しました。この法律に賛成ですか。それとも反対ですか。」(N=343, 単位:%)

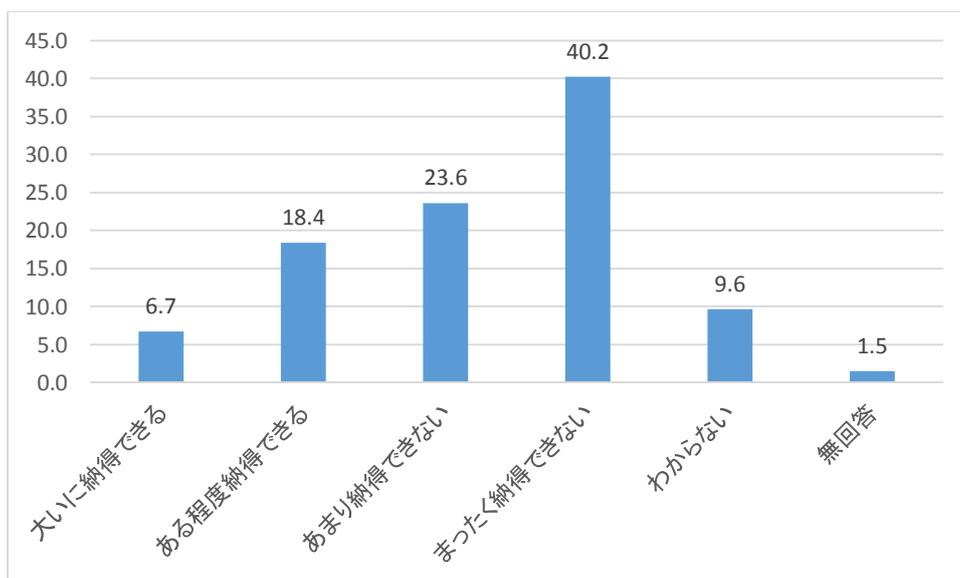


図 13 問4「加計学園が計画している獣医学部の新設をめぐり、民進党や共産党などは行政のあり方がゆがめられたのではないかと追及しています。これに対して政府は適正に手続きが行われたと説明しています。この政府の説明について納得できますか。納得できませんか。」(N=343, 単位:%)

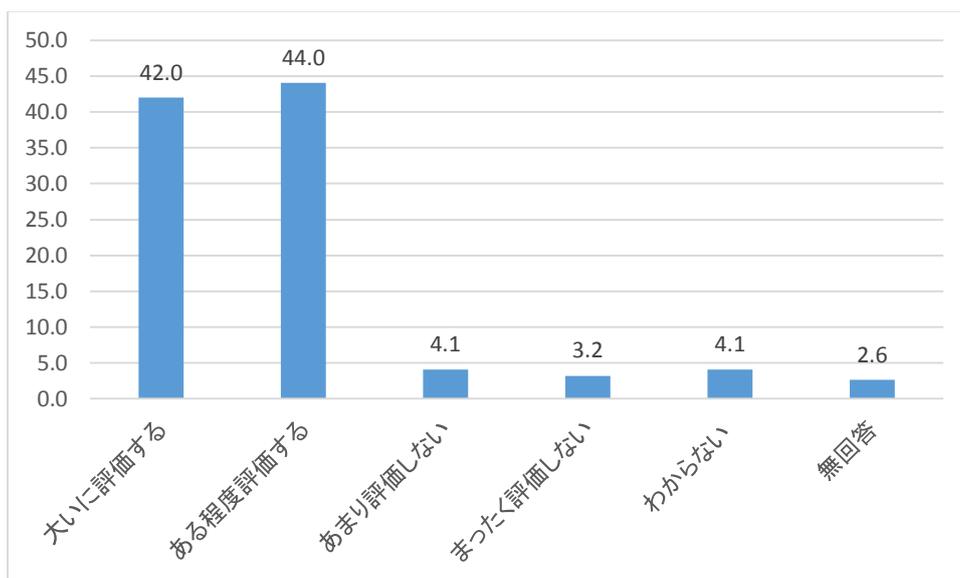


図 14 問5「天皇陛下の退位を認める特例法が成立しました。この法律の成立について評価しますか。評価しませんか。」(N=343, 単位:%)

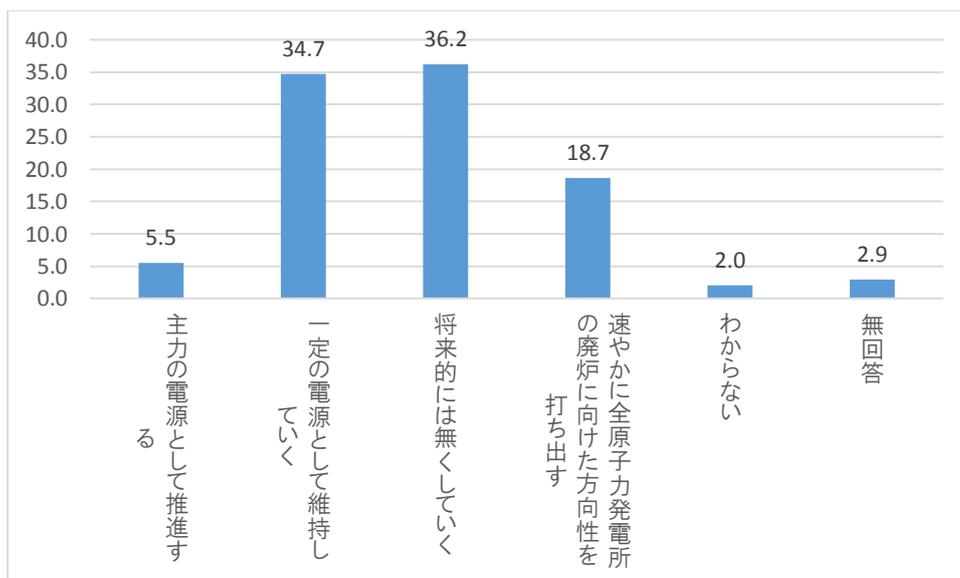


図 15 問6「福島第一原子力発電所事故から6年以上経過しましたが、今後の日本の原子力発電についてお伺いします。」(N=343 単位:%)

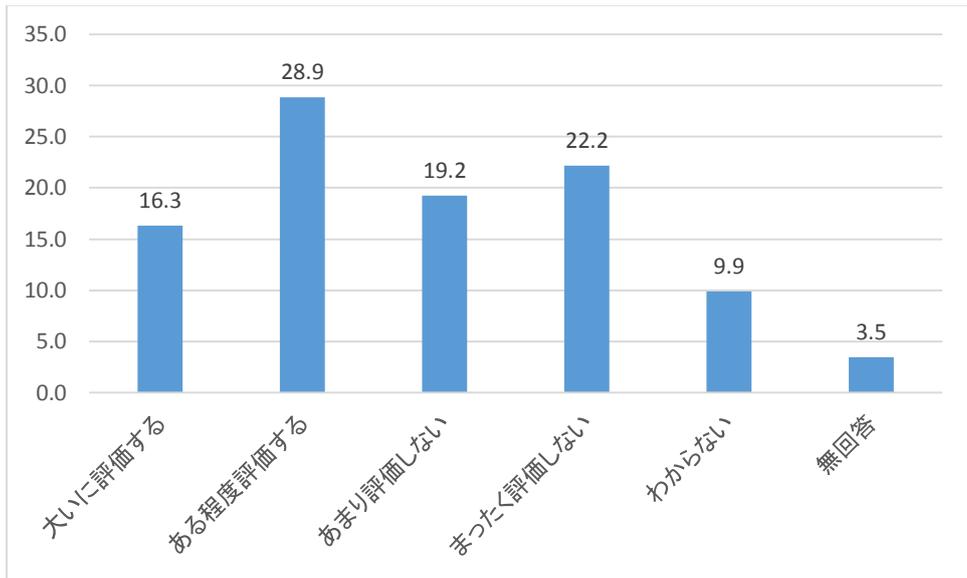


図 16 問7「安倍首相は憲法を改正して2020年の施行を目指す意向を明らかにしました。この表明について評価しますか。評価しませんか。」(N=343 単位:%)

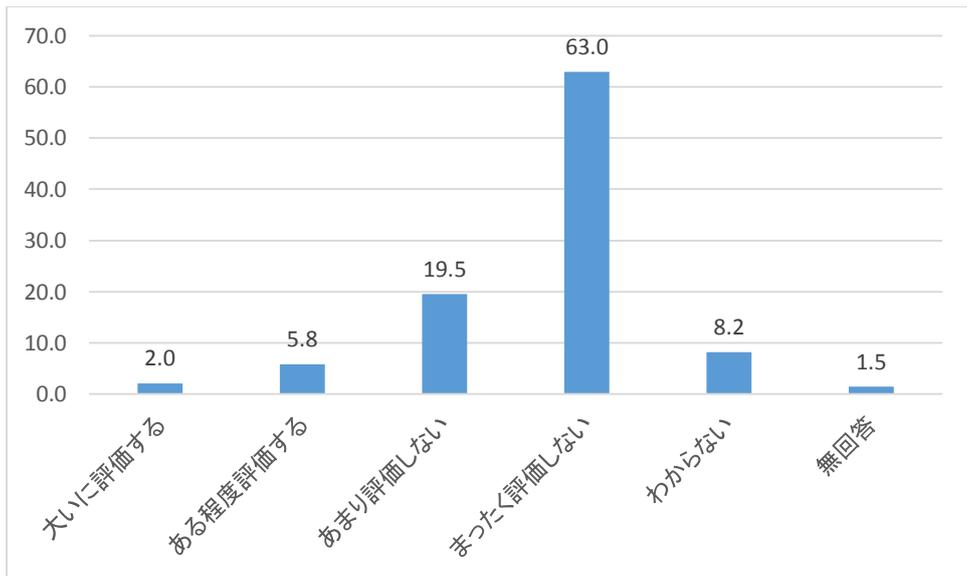


図 17 問8「トランプ米大統領は地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」から脱退すると発表しました。この表明について評価しますか。評価しませんか。」(N=343 単位:%)

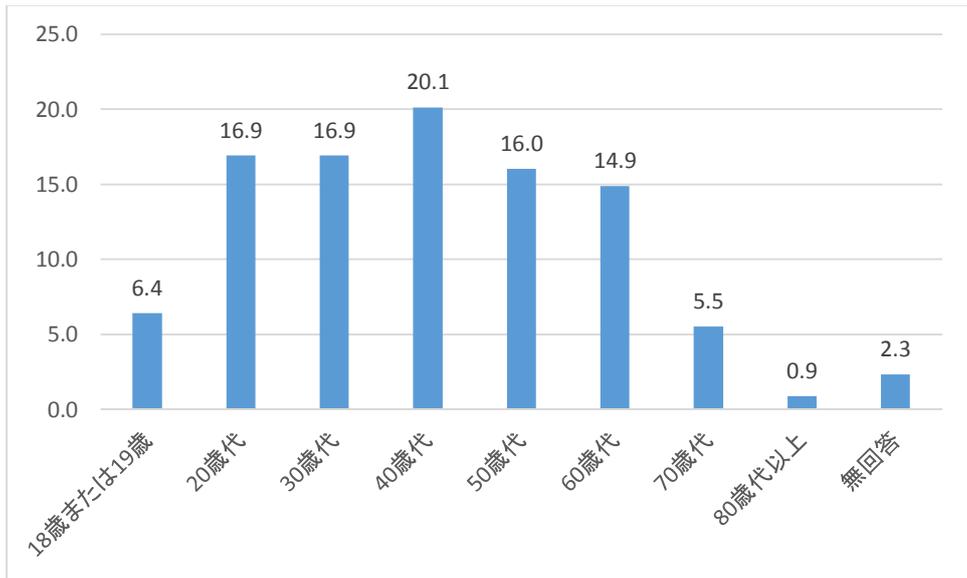


図 18 問9「あなたの年齢について教えてください。」(N=343 単位:%)

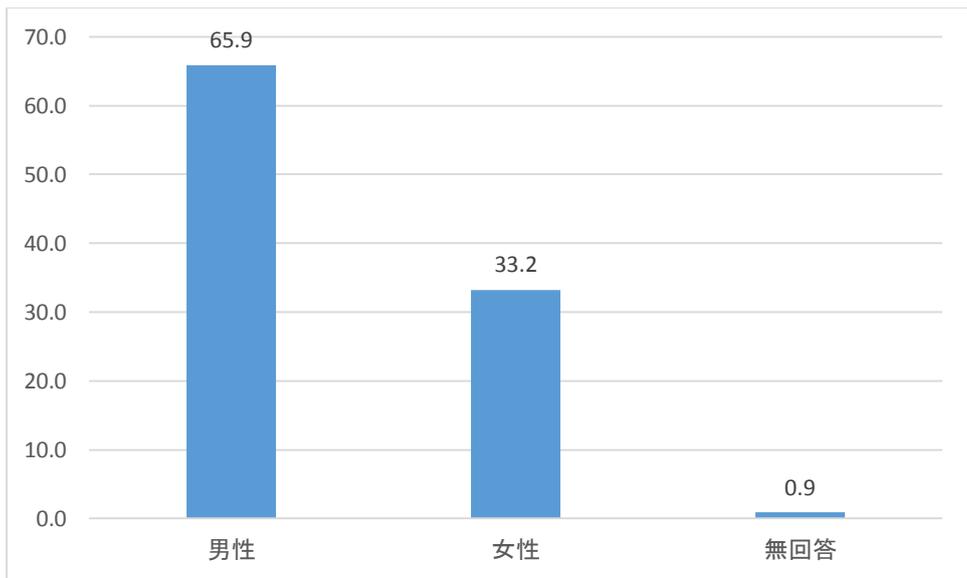


図 19 問 10「あなたの性別について教えてください。」(N=343 単位:%)

巻末資料② 第2回調査(政治等に関する世論調査)クロス集計表

表1 性別と年齢のクロス集計

		女性	男性	無回答	計
18・19 歳	度数	11	11	0	22
	行%	50.0	50.0	0.0	100.0
20 歳代	度数	17	41	0	58
	行%	29.3	70.7	0.0	100.0
30 歳代	度数	20	38	0	58
	行%	34.5	65.5	0.0	100.0
40 歳代	度数	25	44	0	69
	行%	36.2	63.8	0.0	100.0
50 歳代	度数	25	30	0	55
	行%	45.5	54.5	0.0	100.0
60 歳代	度数	12	39	0	51
	行%	23.5	76.5	0.0	100.0
70 歳代	度数	4	15	0	19
	行%	21.1	78.9	0.0	100.0
80 歳以上	度数	0	2	1	3
	行%	0.0	66.7	33.3	100.0
無回答	度数	0	6	2	8
	行%	0.0	75.0	25.0	100.0
計	度数	114	226	3	343
	行%	33.2	65.9	0.9	100.0

表2 内閣支持と年齢のクロス集計

		支持する	支持しない	わからない	無回答	計
18・19 歳	度数	9	5	8	0	22
	行%	40.9	22.7	36.4	0.0	100.0
20 歳代	度数	35	8	15	0	58
	行%	60.3	13.8	25.9	0.0	100.0
30 歳代	度数	29	20	9	0	58
	行%	50.0	34.5	15.5	0.0	100.0
40 歳代	度数	26	35	8	0	69
	行%	37.7	50.7	11.6	0.0	100.0
50 歳代	度数	21	29	5	0	55
	行%	38.2	52.7	9.1	0.0	100.0
60 歳代	度数	22	26	3	0	51
	行%	43.1	51.0	5.9	0.0	100.0
70 歳代	度数	9	9	1	0	19
	行%	47.4	47.4	5.3	0.0	100.0
80 歳以上	度数	1	1	1	0	3
	行%	33.3	33.3	33.3	0.0	100.0
無回答	度数	4	2	0	2	8
	行%	50.0	25.0	0.0	25.0	100.0
計	度数	156	135	50	2	343
	行%	45.5	39.4	14.6	0.6	100.0

表3 内閣支持と性別のクロス集計

		支持する	支持しない	わからない	無回答	計
女性	度数	37	52	25	0	114
	行%	32.5	45.6	21.9	0.0	100.0
男性	度数	119	82	25	0	226
	行%	52.7	36.3	11.1	0.0	100.0
無回答	度数	0	1	0	2	3
	行%	0.0	33.3	0.0	66.7	100.0
計	度数	156	135	50	2	343
	行%	45.5	39.4	14.6	0.6	100.0

表4 内閣支持と支持政党のクロス集計

		支持する	支持しない	わからない	無回答	計
自民党(自由民主党)	度数	98	9	8	0	115
	行%	85.2	7.8	7.0	0.0	100.0
民進党	度数	1	20	2	0	23
	行%	4.3	87.0	8.7	0.0	100.0
公明党	度数	3	3	2	0	8
	行%	37.5	37.5	25.0	0.0	100.0
共産党(日本共産党)	度数	2	7	1	0	10
	行%	20.0	70.0	10.0	0.0	100.0
日本維新の会	度数	13	5	3	0	21
	行%	61.9	23.8	14.3	0.0	100.0
自由党	度数	0	5	0	0	5
	行%	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
社民党(社会民主党)	度数	0	5	0	0	5
	行%	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
日本のこころ	度数	3	1	0	0	4
	行%	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0
その他	度数	1	2	1	0	4
	行%	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0
特に支持している政党はない	度数	34	76	27	0	137
	行%	24.8	55.5	19.7	0.0	100.0
わからない	度数	0	1	6	0	7
	行%	0.0	14.3	85.7	0.0	100.0
無回答	度数	1	1	0	2	4
	行%	25.0	25.0	0.0	50.0	100.0
計	度数	156	135	50	2	343
	行%	45.5	39.4	14.6	0.6	100.0

表5 支持政党と年齢のクロス集計

		自民党	民進党	公明党	共産党	日本維新の会	自由党	社民党	日本のこころ	その他	支持なし	わからない	無回答	計
18・19 歳	度数	6	1	0	0	0	0	0	0	2	10	3	0	22
	行%	27.3	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	45.5	13.6	0.0	100.0
20 歳代	度数	26	1	1	1	2	0	0	1	0	23	3	0	58
	行%	44.8	1.7	1.7	1.7	3.4	0.0	0.0	1.7	0.0	39.7	5.2	0.0	100.0
30 歳代	度数	21	2	1	3	4	0	1	0	0	26	0	0	58
	行%	36.2	3.4	1.7	5.2	6.9	0.0	1.7	0.0	0.0	44.8	0.0	0.0	100.0
40 歳代	度数	19	3	2	2	5	0	1	1	1	34	1	0	69
	行%	27.5	4.3	2.9	2.9	7.2	0.0	1.4	1.4	1.4	49.3	1.4	0.0	100.0
50 歳代	度数	17	1	3	4	2	1	1	0	0	26	0	0	55
	行%	30.9	1.8	5.5	7.3	3.6	1.8	1.8	0.0	0.0	47.3	0.0	0.0	100.0
60 歳代	度数	16	9	1	0	5	4	1	2	0	12	0	1	51
	行%	31.4	17.6	2.0	0.0	9.8	7.8	2.0	3.9	0.0	23.5	0.0	2.0	100.0
70 歳代	度数	8	5	0	0	2	0	1	0	1	2	0	0	19
	行%	42.1	26.3	0.0	0.0	10.5	0.0	5.3	0.0	5.3	10.5	0.0	0.0	100.0
80 歳以上	度数	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
	行%	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0
無回答	度数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2	8
	行%	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	100.0
計	度数	115	23	8	10	21	5	5	4	4	137	7	4	343
	行%	33.5	6.7	2.3	2.9	6.1	1.5	1.5	1.2	1.2	39.9	2.0	1.2	100.0

表6 支持政党と性別のクロス集計

		自民党	民進党	公明党	共産党	日本維新の会	自由党	社民党	日本のこころ	その他	支持なし	わからない	無回答	計
女性	度数	32	6	5	3	3	1	1	1	1	58	3	0	114
	行%	28.1	5.3	4.4	2.6	2.6	0.9	0.9	0.9	0.9	50.9	2.6	0.0	100.0
男性	度数	83	17	3	7	18	4	4	3	3	79	4	1	226
	行%	36.7	7.5	1.3	3.1	8.0	1.8	1.8	1.3	1.3	35.0	1.8	0.4	100.0
無回答	度数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	行%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	度数	115	23	8	10	21	5	5	4	4	137	7	4	343
	行%	33.5	6.7	2.3	2.9	6.1	1.5	1.5	1.2	1.2	39.9	2.0	1.2	100.0

表7 「テロ等準備罪法への賛否」と年齢のクロス集計

		賛成	反対	どちらとも いえない	無回答	計
18・19 歳	度数	7	5	10	0	22
	行%	31.8	22.7	45.5	0.0	100.0
20 歳代	度数	29	12	17	0	58
	行%	50.0	20.7	29.3	0.0	100.0
30 歳代	度数	24	13	20	1	58
	行%	41.4	22.4	34.5	1.7	100.0
40 歳代	度数	26	27	16	0	69
	行%	37.7	39.1	23.2	0.0	100.0
50 歳代	度数	16	19	20	0	55
	行%	29.1	34.5	36.4	0.0	100.0
60 歳代	度数	20	22	8	1	51
	行%	39.2	43.1	15.7	2.0	100.0
70 歳代	度数	8	9	2	0	19
	行%	42.1	47.4	10.5	0.0	100.0
80 歳以上	度数	2	0	1	0	3
	行%	66.7	0.0	33.3	0.0	100.0
無回答	度数	2	2	2	2	8
	行%	25.0	25.0	25.0	25.0	100.0
計	度数	134	109	96	4	343
	行%	39.1	31.8	28.0	1.2	100.0

表8 「テロ等準備罪法への賛否」と性別のクロス集計

		賛成	反対	どちらとも いえない	無回答	計
女性	度数	39	45	30	0	114
	行%	34.2	39.5	26.3	0.0	100.0
男性	度数	95	64	65	2	226
	行%	42.0	28.3	28.8	0.9	100.0
無回答	度数	0	0	1	2	3
	行%	0.0	0.0	33.3	66.7	100.0
計	度数	134	109	96	4	343
	行%	39.1	31.8	28.0	1.2	100.0

表9 「加計学園問題への説明」と性別のクロス集計

		大いに 納得できる	ある程度 納得できる	あまり納得 できない	まったく納得 できない	わからない	無回答	計
女性	度数	3	17	28	52	13	1	114
	行%	2.6	14.9	24.6	45.6	11.4	0.9	100.0
男性	度数	20	46	52	86	20	2	226
	行%	8.8	20.4	23.0	38.1	8.8	0.9	100.0
無回答	度数	0	0	1	0	0	2	3
	行%	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	100.0
計	度数	23	63	81	138	33	5	343
	行%	6.7	18.4	23.6	40.2	9.6	1.5	100.0

表10 「加計学園問題への説明」と年齢のクロス集計

		大いに 納得できる	ある程度 納得できる	あまり納得 できない	まったく納得 できない	わからない	無回答	計
18・19 歳	度数	0	2	6	6	8	0	22
	行%	0.0	9.1	27.3	27.3	36.4	0.0	100.0
20 歳代	度数	9	11	18	6	13	1	58
	行%	15.5	19.0	31.0	10.3	22.4	1.7	100.0
30 歳代	度数	2	13	11	25	7	0	58
	行%	3.4	22.4	19.0	43.1	12.1	0.0	100.0
40 歳代	度数	3	15	18	31	2	0	69
	行%	4.3	21.7	26.1	44.9	2.9	0.0	100.0
50 歳代	度数	2	11	12	27	2	1	55
	行%	3.6	20.0	21.8	49.1	3.6	1.8	100.0
60 歳代	度数	6	6	9	28	1	1	51
	行%	11.8	11.8	17.6	54.9	2.0	2.0	100.0
70 歳代	度数	1	3	3	12	0	0	19
	行%	5.3	15.8	15.8	63.2	0.0	0.0	100.0
80 歳以上	度数	0	0	2	1	0	0	3
	行%	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0
無回答	度数	0	2	2	2	0	2	8
	行%	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	100.0
計	度数	23	63	81	138	33	5	343
	行%	6.7	18.4	23.6	40.2	9.6	1.5	100.0

表11 「天皇退位特例法成立に対する評価」と年齢のクロス集計

		大いに 評価する	ある程度 評価する	あまり 評価しない	まったく 評価しない	わからない	無回答	計
18・19 歳	度数	15	6	0	0	1	0	22
	行%	68.2	27.3	0.0	0.0	4.5	0.0	100.0
20 歳代	度数	27	24	2	2	3	0	58
	行%	46.6	41.4	3.4	3.4	5.2	0.0	100.0
30 歳代	度数	24	30	0	1	2	1	58
	行%	41.4	51.7	0.0	1.7	3.4	1.7	100.0
40 歳代	度数	28	32	3	3	2	1	69
	行%	40.6	46.4	4.3	4.3	2.9	1.4	100.0
50 歳代	度数	23	22	5	2	2	1	55
	行%	41.8	40.0	9.1	3.6	3.6	1.8	100.0
60 歳代	度数	15	27	3	1	4	1	51
	行%	29.4	52.9	5.9	2.0	7.8	2.0	100.0
70 歳代	度数	7	8	0	2	0	2	19
	行%	36.8	42.1	0.0	10.5	0.0	10.5	100.0
80 歳以上	度数	2	1	0	0	0	0	3
	行%	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答	度数	3	1	1	0	0	3	8
	行%	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	37.5	100.0
計	度数	144	151	14	11	14	9	343
	行%	42.0	44.0	4.1	3.2	4.1	2.6	100.0

表12 「天皇退位特例法成立に対する評価」と性別のクロス集計

		大いに 評価する	ある程度 評価する	あまり 評価しない	まったく 評価しない	わからない	無回答	計
女性	度数	50	51	3	2	5	3	114
	行%	43.9	44.7	2.6	1.8	4.4	2.6	100.0
男性	度数	93	100	11	9	9	4	226
	行%	41.2	44.2	4.9	4.0	4.0	1.8	100.0
無回答	度数	1	0	0	0	0	2	3
	行%	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	100.0
計	度数	144	151	14	11	14	9	343
	行%	42.0	44.0	4.1	3.2	4.1	2.6	100.0

表13 「今後の原子力発電のあり方」と年齢のクロス集計

		主力の 電源 として 推進 する	一定の 電源 として 維持 していく	将来的には 無くしていく	速やかに 全原子力 発電所の 廃炉に向けた 方向性を 打ち出す	わからない	無回答	計
18・19 歳	度数	2	8	7	3	2	0	22
	行%	9.1	36.4	31.8	13.6	9.1	0.0	100.0
20 歳代	度数	7	28	16	4	2	1	58
	行%	12.1	48.3	27.6	6.9	3.4	1.7	100.0
30 歳代	度数	3	21	24	8	0	2	58
	行%	5.2	36.2	41.4	13.8	0.0	3.4	100.0
40 歳代	度数	2	28	23	13	2	1	69
	行%	2.9	40.6	33.3	18.8	2.9	1.4	100.0
50 歳代	度数	2	12	29	10	1	1	55
	行%	3.6	21.8	52.7	18.2	1.8	1.8	100.0
60 歳代	度数	1	12	19	17	0	2	51
	行%	2.0	23.5	37.3	33.3	0.0	3.9	100.0
70 歳代	度数	1	8	2	8	0	0	19
	行%	5.3	42.1	10.5	42.1	0.0	0.0	100.0
80 歳以上	度数	0	1	1	1	0	0	3
	行%	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	100.0
無回答	度数	1	1	3	0	0	3	8
	行%	12.5	12.5	37.5	0.0	0.0	37.5	100.0
計	度数	19	119	124	64	7	10	343
	行%	5.5	34.7	36.2	18.7	2.0	2.9	100.0

表14 「今後の原子力発電のあり方」と性別のクロス集計

		主力の 電源 として 推進する	一定の 電源 として 維持 していく	将来的には 無くしていく	速やかに 全原子力 発電所の 廃炉に向けた 方向性を 打ち出す	わからない	無回答	計
女性	度数	2	36	45	27	3	1	114
	行%	1.8	31.6	39.5	23.7	2.6	0.9	100.0
男性	度数	17	83	79	36	4	7	226
	行%	7.5	36.7	35.0	15.9	1.8	3.1	100.0
無回答	度数	0	0	0	1	0	2	3
	行%	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	100.0
計	度数	19	119	124	64	7	10	343
	行%	5.5	34.7	36.2	18.7	2.0	2.9	100.0

表15 「2020年憲法改正発言に対する評価」と年齢のクロス集計

		大いに 評価する	ある程度 評価する	あまり 評価しない	まったく 評価しない	わからない	無回答	計
18・19歳	度数	0	8	3	3	8	0	22
	行%	0.0	36.4	13.6	13.6	36.4	0.0	100.0
20歳代	度数	12	21	9	4	9	3	58
	行%	20.7	36.2	15.5	6.9	15.5	5.2	100.0
30歳代	度数	11	17	15	12	3	0	58
	行%	19.0	29.3	25.9	20.7	5.2	0.0	100.0
40歳代	度数	10	19	14	15	9	2	69
	行%	14.5	27.5	20.3	21.7	13.0	2.9	100.0
50歳代	度数	8	14	11	18	4	0	55
	行%	14.5	25.5	20.0	32.7	7.3	0.0	100.0
60歳代	度数	11	12	10	17	0	1	51
	行%	21.6	23.5	19.6	33.3	0.0	2.0	100.0
70歳代	度数	2	5	3	6	1	2	19
	行%	10.5	26.3	15.8	31.6	5.3	10.5	100.0
80歳以上	度数	1	1	0	0	0	1	3
	行%	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0
無回答	度数	1	2	1	1	0	3	8
	行%	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0	37.5	100.0
計	度数	56	99	66	76	34	12	343
	行%	16.3	28.9	19.2	22.2	9.9	3.5	100.0

表16 「2020年憲法改正発言に対する評価」と性別のクロス集計

		大いに 評価する	ある程度 評価する	あまり 評価しない	まったく 評価しない	わからない	無回答	計
女性	度数	12	29	31	28	11	3	114
	行%	10.5	25.4	27.2	24.6	9.6	2.6	100.0
男性	度数	44	70	35	48	23	6	226
	行%	19.5	31.0	15.5	21.2	10.2	2.7	100.0
無回答	度数	0	0	0	0	0	3	3
	行%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	度数	56	99	66	76	34	12	343
	行%	16.3	28.9	19.2	22.2	9.9	3.5	100.0

表17 「アメリカのパリ協定脱退表明に対する評価」と年齢のクロス集計

		大いに 評価する	ある程度 評価する	あまり 評価しない	まったく 評価しない	わからない	無回答	計
18・19 歳	度数	1	1	6	8	6	0	22
	行%	4.5	4.5	27.3	36.4	27.3	0.0	100.0
20 歳代	度数	4	6	12	26	9	1	58
	行%	6.9	10.3	20.7	44.8	15.5	1.7	100.0
30 歳代	度数	0	2	12	41	3	0	58
	行%	0.0	3.4	20.7	70.7	5.2	0.0	100.0
40 歳代	度数	0	3	14	46	6	0	69
	行%	0.0	4.3	20.3	66.7	8.7	0.0	100.0
50 歳代	度数	1	4	13	36	1	0	55
	行%	1.8	7.3	23.6	65.5	1.8	0.0	100.0
60 歳代	度数	1	2	8	39	1	0	51
	行%	2.0	3.9	15.7	76.5	2.0	0.0	100.0
70 歳代	度数	0	0	1	17	0	1	19
	行%	0.0	0.0	5.3	89.5	0.0	5.3	100.0
80 歳以上	度数	0	0	0	2	0	1	3
	行%	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	100.0
無回答	度数	0	2	1	1	2	2	8
	行%	0.0	25.0	12.5	12.5	25.0	25.0	100.0
計	度数	7	20	67	216	28	5	343
	行%	2.0	5.8	19.5	63.0	8.2	1.5	100.0

表18 「アメリカのパリ協定脱退表明に対する評価」と性別のクロス集計

		大いに 評価する	ある程度 評価する	あまり 評価しない	まったく 評価しない	わからない	無回答	計
女性	度数	0	4	28	71	9	2	114
	行%	0.0	3.5	24.6	62.3	7.9	1.8	100.0
男性	度数	7	16	39	145	19	0	226
	行%	3.1	7.1	17.3	64.2	8.4	0.0	100.0
無回答	度数	0	0	0	0	0	3	3
	行%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	度数	7	20	67	216	28	5	343
	行%	2.0	5.8	19.5	63.0	8.2	1.5	100.0

### 巻末資料③ 質問項目

#### ■ 第 1 回調査

- Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビを見ますか。まったく見ない方は0(ゼロ)をご選択ください。  
0. 0時間 1. 1時間くらい 2. 2時間くらい 3. 3時間くらい 4. 4時間くらい  
5. 5時間くらい 6. 6時間くらい  
7. 7時間くらい 8. 8時間くらい 9. 9時間くらい 10. 10時間くらい 11. 11時間以上
- Q2 あなたは、パソコンまたは携帯電話(PHSを含む)のインターネットを利用して、次のことを行なっていますか。あてはまるものすべてにチェックをつけてください。  
1. 情報検索 2. インターネットショッピング 3. インターネットバンキング  
4. ホームページの作成(ブログを含む) 5. インターネットゲーム  
6. いずれも行っていない
- Q3 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ(ウォーキング、水泳、野球など)を行なっていますか。  
1. 週に数回以上 2. 週に1回程度 3. 月に1回程度 4. 年に数回程度  
5. ほとんどしない
- Q4 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)  
0. ほとんど読まない 1. 1冊程度 2. 2冊程度 3. 3冊程度 4. 4冊以上
- Q5 あなたは、音楽鑑賞(CD・ラジオ・コンサートなど)をどのくらい行いますか。  
1. よくする 2. 時々する 3. あまりしない 4. まったくしない/知らない
- Q6 あなたの年齢について教えてください。  
1. 18歳または19歳 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代  
6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳代以上
- Q7 あなたの性別について教えてください。  
1. 男性 2. 女性
- Q8 本調査に関してご意見ご感想などございましたらご記入ください。

## ■第2回調査

- Q1 安倍内閣を支持しますか。それとも、支持しませんか。  
1. 支持する 2. 支持しない 3. わからない
- Q2 今、どの政党を支持していますか。支持している政党の名前を1つだけ選んでください。  
1. 自民党(自由民主党) 2. 民進党 3. 公明党 4. 共産党(日本共産党) 5. 日本維新の会 6. 自由党 7. 社民党(社会民主党) 8. 日本のこころ 9. その他 10. 特に支持している政党はない 11. わからない
- Q3 「共謀罪」の構成要件を改めて「テロ等準備罪」を新設する「改正組織犯罪処罰法」が成立しました。この法律に賛成ですか。それとも反対ですか。  
1. 賛成 2. 反対 3. どちらともいえない
- Q4 加計学園が計画している獣医学部の新設をめぐり、民進党や共産党などは行政のあり方がゆがめられたのではないかと追及しています。これに対して政府は適正に手続きが行われたと説明しています。この政府の説明について納得できますか。納得できませんか。  
1. 大いに納得できる 2. ある程度納得できる 3. あまり納得できない 4. まったく納得できない。 5. わからない
- Q5 天皇陛下の退位を認める特例法が成立しました。この法律の成立について評価しますか。評価しませんか。  
1. 大いに評価する 2. ある程度評価する 3. あまり評価しない 4. まったく評価しない。 5. わからない
- Q6 福島第一原子力発電所事故から6年以上経過しましたが、今後の日本の原子力発電についてお伺いします。  
1. 主力の電源として推進する 2. 一定の電源として維持していく 3. 将来的には無くしていく 4. 速やかに全原子力発電所の廃炉に向けた方向性を打ち出す 5. わからない
- Q7 安倍首相は憲法を改正して2020年の施行を目指す意向を明らかにしました。この表明について評価しますか。評価しませんか。  
1. 大いに評価する 2. ある程度評価する 3. あまり評価しない 4. まったく評価しない。 5. わからない

- Q8 トランプ米大統領は地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」から脱退すると発表しました。この表明について評価しますか。評価しませんか。  
1.大いに評価する 2. ある程度評価する 3. あまり評価しない 4.まったく評価しない。 5.わからない
- Q9 あなたの年齢について教えてください。  
1. 18歳または19歳 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代  
6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳代以上
- Q10 あなたの性別について教えてください。  
1.男性 2.女性

#### 巻末資料④ 参考文献

- 前田忠彦, 2015, 「第1回 SSP 調査の設計と実施概要」吉川徹・伊藤理史編『2015年階層と社会意識全国調査(第1回 SSP 調査)報告書』SSPプロジェクト: 3-9.
- 三隅一人・三輪哲, 2008, 「2005年 SSM 日本調査の欠票・回収状況の分析」三輪哲・小林大祐編『2005年 SSM 日本調査の基礎分析—構造・趨勢・方法—』2005年 SSM 調査研究会: 17-29.
- NHK, 2017, 「政治意識月例調査」(<http://www.nhk.or.jp/bunken/research/yoron/political/2017.htm> 2017年6月22日取得) .
- 総務省統計局, 2016, 「平成27年国勢調査 人口等基本集計(男女・年齢・配偶関係, 世帯の構成, 住居の状態など) 全国結果 3-1 年齢(各歳), 男女別人口, 年齢別割合, 平均年齢及び年齢中位数(総数及び日本人) — 全国※, 全国市部・郡部, 都道府県, 21大都市」,(2017年6月23日取得, <http://www.e-tat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do? toGL08020103 &tclassID=000001077438&cycleCode=0&requestSender=estat>).
- 渡辺健太郎, 2017, 「新たな調査モードとしてのSMSに関する基礎的研究—携帯RDD調査との比較から—」『よろん』119: 4-10.



## H29 SMS 調査・実証実験 成果報告書

---

2017 年 7 月 20 日発行

編集

渡辺健太郎

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1 番 2 号  
大阪大学大学院人間科学研究科経験社会学研究室

---